

令和5年11月21日

議会報告会報告書

議会広報広聴特別委員会委員長 森田 洋一 様

議会報告会 2班（教育福祉委員会）

班長 海老原 功一

楠山 栄子

阿部 治正

矢口 輝美

桑畑 伴子

乾 えり

坂巻 儀一

私の班は議会報告会を開催し、その概要は下記のとおりでしたので、御報告します。

記

- 1 日時
令和5年11月11日（土）午前10時00分～午前11時30分
- 2 場所
東部公民館 講義室
- 3 欠席議員 海老原 功一
- 4 来場者数 市民来場者12人、議員・職員3人
- 5 報告内容
3テーマで報告（配布資料・スクリーンでの説明）
 - ① 決算審査特別委員会 令和4年（2022年）度一般会計
決算 指摘要望事項（議会全体の合意事項分）について
 - ② 流山市内の公共交通の取り組みと東部地域の交通課題に

ついて

③ 教育福祉委員会視察報告

6 意見交換内容

① について

市民 不登校が400人と増えているが、中学三年生の進路指導には、専門の指導員を配置してほしい。フリースクールを作りたいが場所もお金もない。生涯学習センター（フレンドステーション）は遠くて小学生は通えない。その地域で作ってほしい。

議員 専門指導員は議会全体で答えは得られていないが、再度要望をお聞きして議会の中で議論していく。フリースクールは流山市には少ない。国がフリースクール容認・活用に転換し、流山市議会も流山市に公費負担を要望した。

市民 幼児教育支援センター運営事業の「架け橋教育」の「連携」とは？

議員 「幼稚園・保育園（年長児）から小学校へ」を架け橋教育という。その連携。

市民 白みりんミュージアムは赤字？どのくらいお金をつかうのか。

議員 白みりんミュージアムはまだできていない。赤字や負債で議論になっているのは株式会社流山市ツーリズムデザイン本体。毎議会ごとに透明性を求めているが、なかなか進まず強い要望になった。

白みりんミュージアムの入館予想などが甘く、議会から指摘した。

② について

市民 （地域の交通問題での取り組み報告）前ヶ崎みどり自治会は周囲がどこに行くにも坂で交通問題は大きな課題。道が狭くバスが通行できない。大学の先生を招いて研究したが費用などで進まず。松戸市のグリーンスローモビリティ制度を

実態調査し、東・みどり・松ヶ丘自治会で、市役所とも話し合っている。地区内で共同の話し合いを進めていく。

③ について

市民 熊本でフリースクールが多いのはなぜか？補助金があるのか？

議員 人口が多く子供も多い。有名フリースクールもあり、フリースクールが市民権を得ているのではないか。補助金については調べておく。

(※後日熊本の教育委員会へ問い合わせ。利用家庭に対してもフリースクール側にも補助は出ていない。フリースクールの団体から県と市に家庭に対する補助の要望が出されており、今後検討の段階。)

④ その他について

市民 東小のボランティアをしている。教員が2名欠員で深刻な状態。サポーターが朝の交通指導にはいるため、教室の指導ができない。交通指導員を市の責任で東小前につけてほしい。

東小のプール開放が文科省既定の規則上違法状態である。また、管理がずさんで16歳のアルバイトがチェックしており、セクハラパワハラ対応もできていない。認識してほしい。

市民 今年4月に東部に総合病院を作るという話があったが、その後なくなった。どうなっているのか。

議員 正式な報告は受けていない。交渉相手がいるので、地権者との問題と聞いている。

市民 公的な発表はある程度決まってからとすべき。じゃんけん橋も期間が延び、計画がずさんだ。

議員 意見を記録として残しておく。

市民 幼児教育支援センター附属幼稚園は、市長が1月くらいに廃園を言い出したことが、手続きを無視して強引に進んでいる。議会も十分な検討を。

議員 まだ議案が上がっていない。廃園で市が動いているが、

これからパブリックコメントを募集するのでぜひいろいろな意見を寄せてほしい。

7 参加者から議会への要望

- ・ 議員は教育内容に介入してはいけない。

8 所感

【楠山 栄子】

今回の議会報告会は、私の地元の東部で開かれ、私の担当は東部諸課題についてのプレゼンテーションでした。東部が10年以上前から取り組んでいる公共交通を中心に、他の地域の現状報告と、そして地域の課題について触れさせていただきました。参加者は若い方から年配の方まで、個人で参加された方から自治会つながりだったり、多種多様な参加となりました。

皆様からいただいたご意見は、批判ばかりの声ではなく、いずれも、穏やかで、建設的な意見の交換でした。これは、過去に、長年にわたって開催されてきた議会報告会の成果だと感じています。

今後、議会広報広聴特別委員会で、議会報告会の開催回数、進め方の在り方をめぐって、議論が進められます。ひとつのいい事例となったと思います。

【阿部 治正】

参加者数は市民などが15名と議員が6名という、多くもなく少なくもない数でした。

報告をめぐる質問や意見交換も割と活発であったと思います。不登校の子どもの中の中学三年生への専門指導員の配置やフリースクールに通う子どもへの支援の必要、東小学校の通学サポートや学校プールの市民開放の在り方、地域公共交通の充実などについての意見をいただきました。また「架け橋」教育における諸機関の連携、白みりんミュージアムや流山ツーリズムデザインの

現状などへの質問もありました。いずれも今の流山市が直面しているリアルな課題をめぐる市民の皆さんの声でした。

市民の皆さんとこうした意見交換が行えるのも、議会の側からの時宜を得た適切な素材提供があればこそであり、議会報告会の成否は半分はそのことにかかっているでしょう。個々の議員や会派が主催する市政報告会などと並んで、市議会主催のそれも、市民との意見交換の機会のひとつとして意義を持っていることがあらためて確認できた報告会であったと思います。

【坂巻 儀一】

議会報告会における理想的な参加人数というものは定義されていませんが、今回の教育福祉常任委員会での市民参加人数と3つの課題と説明内容とのバランスは上手くマッチングできていたかに思われます。当初は限られた短時間の中での説明と質疑応答及び意見交換を進行していくのに司会役として時間配分を考慮しなければと心配する点もありましたが、とにかくありがちな市民からの執行部の施策等に対する不平不満への対応もするような場面もなく、市民、議会（議員）お互いにとって有意義なやり取りがなされたと考えます。また、一名の欠席により六名中三名の新規議員の議員構成ではありましたが、それぞれの役目が粛々と果たされ円滑に議会報告会が運営できたことは委員会として喜ばしい事と自負いたします。

【桑畑 伴子】

議員となり、初めての議会報告会ですが15名の市民の方が足を運んで来て下さいました。

若い方からのご意見や地域の課題についての相談。学校プールの問題点など、貴重なご意見をいただきました。

市民の方の意見交換ができ、今の課題などを知る良い機会となりました。

【矢口 輝美】

初めての議会報告会が終わりました。視察報告を担当させていただけましたが、市民の方からのご質問に答えられない点もあり、そのような場合、どちらの媒体を通して後日お答えが出来るのかを確認すべきだったと思いました。次回はしっかり対応したいと思います。

市民の方のご意見を伺うことの出来る貴重な機会となりました。

【乾 えり】

はじめての議会報告会でした。さまざまな立場の議員と一緒に、また自分の地元とはちがう地域で、どういうことになるのか心配でしたが、市民の意見を聞くよい機会でした。地元の声を聞くと同時に、議員は全市的に責任を負うので、地元以外の声を聞くのは重要だと感じました。

市民は「市議会への要望」というより「市政への要望」を言うために参加するので、そこに難しさも感じましたが、議員としてその声をどう受け止め、市民とともに市政に反映していくにはどうするか、考えていきます。